

陰

かげ

女学院生

はあ

はあ

あん

あう

ああ

はふ

はふ

あつくつあんたまた
ペニス大きくなった
んじゃないの……
オマンコ裂けちゃい
そう……

あっ

ウソ

私の方が
先にイク…

イクッ

イツちやう

あう

あふっ

え

秋さんとこんな事に
なつて3ヶ月…
初めて先に
イカせた





いくよ

ぐぐぐ

琴音ちゃんは
すっかりアナル
専門だな

はい

きゃああん♡

伊藤先輩
琴音はまたお尻で
お願いします

絶頂し続けて
いますー!!

ヒヤン

そして

ぐぐぐ

ぐぐぐ

はふくん
私、挿入された
だけでイッちゃい
ました



ああっ
これこの味

うっ
僕ももう

あつてなの？
私飲んで
あげるね

近藤さんはとても
僕の精液の味が
気に入ったようだ

いつもこぼれた
精液まで
舐めてくれる

はふ

はふ

これって
幸せなのかな

それでもまだ
オモチャなのかなー

もうあれから
3ヶ月か……



もっもう
止めて下さい

香坂さん

100%

100%



白濁した
濃いヤツを

そんな事
言つて実は
また射精
したいんですよ...

ああっ
止めてえ

はふ

だったら早く
白状なさいよ

毛三

の

の

の

んは

んっ

んっ

でっでちやう
でちやうよー

陰女学院生



4-203
更衣室

さあこれは
どう言う事かしら

くっ

話してくれるわよね
伊東冬美君

おかしいとは
思っていたのよね

伊東冬美です
よろしく

伊東冬美

転校して来た時から
ずっと体育の
着替えの時！

いつも二人最後に
コッロリと隠れる様に
着替えていたから

あら あの転校生
また一人遅れてる

まったくもー

ちょっと伊東さん
クラス委員長と
して言わして
もらうけれど

もう少し早く
着替えられないの
いつもこの後の
授業に遅れそう
じゃないの……

わっ!?

えっ

まさか
男とはね

.....

いっいたい

黙っていいないで
何とか言いなさいよ

言えません

そうじゃあ
しかたないわね

ゆっゆるして
ゆるして近藤さん

どうやってこの
学校に入ったのよ
警察呼ぶわよ

LOVE



秋!
あき



委員長が
転校生いじめ?

康恵やすえったら教室に
帰って来るのが遅いと
思ったら



そう言う
わけでも

ないみたいね



へー君
男だったんだ

こんなに可愛い
顔してるのにねー

.....

あはは
本当だ

ちゃんと
あるある♡

ちよつとー秋
何やってるのよ
きたないな――

もういいから
人呼ぶわよ……

おっけっこう
大きい

やめて下さい
香坂さん

まあまあそう
あせらずに

ニヤッ

あっ

ひっ

今から面白い物
見せてあげるから
待っていなさいよ

ほーら
大きくなってきた

康恵に君の
大きなテントを
見せてあげなよ

いつくら辱めを
受けても

やだ

やっ

やだ

あははは どう康恵
勃起したペニスを
初めて見た感想は

うっ

ひっ

話しませんから

あら
強情ね

食べちやうぞ

うあっ

そんな事
言っていると

このペニス

リン

ツン

きあ

ああ

あっ

カリ太なんだ

30は

すっごーい君のペニス
まるでキノコの傘が
開いたみたい

おいしそー





フフツ 次は
いよいよ

本気で
食べちゃうぞ〜

ああイヤ

人呼んで
終りにしましょ

ちよつと秋
いい加減にしてよ

もつもう
何も出ません
——ああ

シィ

シィ

ビュン

うるさいな——
ここまで来てもう
止められないわよ

ハア

ハア

何だかんだと言って
興味津々で見てる
くせに

うっ

ほら私の
マンコ舐めな
さいよ

マンコ舐めなさいよ

あっ



早く舐めなさいよ
人を呼ぶわよ!!

はあ

あん

あはは
そうそう

はっはい

もっと舌をオマンコに
擦りつける様に
舐めるのよ

あは

どう私の
ラブジュースの味
美味しいでしょー

あん

あはん良いわあ
君口下手なのに
舌使いは上手なのね

膣穴だけでなく
もつとクリトリスを
いじって――

ああ

ねえ康恵も
見てるだけでなく

冬美君に
舐めてもらいなよ

はあ

うぐっ

うっ

ハッ



私は遠慮するわ

うん

あっ

はっ

まったくもー
康恵ったらウブ
なんだから

あら♡

うん

私のマンコ見て
興奮した？

なーんだまだ
ガチガチに勃起
するじゃない

突っ込みたいんですよ
私のマンコにあなたの
熱い精液を一杯…
ぶちまけたいんですよ

うっ

ああ…

ハア

ハア

ひあっ

はい!!



ほんと本当に
入れるんですか!?

でも君の
大きいから
入るかな〜



本当よ…

ほら君の亀頭が
私の膣穴に当たってるの
分かるでしょ
……んっ

あっああ

亀頭が入った—

あはっ♡



フフッ
いいわよ

私のここも君の
ペニスを欲しがって
パクパクしてるんだから

はあ

はあ



入る入るよ君の
ペニスが根本まで

分かる君の先っちょが
私の子宮に当たってるの



…伊東

お

ほ

ほ

はるひこ
春彦です…

はるひこ

あん

いっ

あっ

ひっやつしびれる
オチンチンが
しびれるよ—

春彦もつと
オマンコの奥まで
突き上げて—

ほっ本当に入っちゃう
んだあんなのが…



やんついいっ
君のすごく

あっ

いっちやう
私いっちやう

あう

あっ

イク？
本当に…

いいわ

このまま私の
膣内にだして…
射精まくって—

香坂さんでっ
射精ちやいます



熱い精液が私の
子宮に流れ込んでくる――

ひやつあつ

ああっ

ふあ〜

気っもち良い〜

あはっまだ
ドンドン精液が
でてくる…





そうじゃないの

はい

んっ

あっ

はっ

はっ

もっと左右に
ペニスを振って

そうそこよ
そこにもっとグリグリ
亀頭を押し付けて

はい



陰

女学院生

ACT.2

ちよつといい加減に
終つてよね
早く帰つて塾に
行きたいのよ私

あはっ

それに秋 あんた
だつて部活が
あるでしょ 陸上部の
レギュラーがサボつて
いいの？

んっ

あ

べへもう
少しだから

はあ

はあ

それにセックスした後って
いい具合に力がぬけて
良いタイムが出るんだ

うるさいわね
あんたはだまつて
腰振るのよ!!

秋さんやっぱり
もう止めた方が
……

はあ

はっはい

はあ何で
私が見はり役
なのよ……

それにしてもあいつ
本当に秋のドレイね

あつ

くはっあつ
くろくろくろ

いっ

うあつ 射精る

私も……
潮吹る——

あふっ

ああっ 気持ち良い……

いっくっ

7N



う~~~~ん
スツキリした

もう見はり役
なんて私
イヤだからね



まあまあ
そう言わずに

何だったら
この後、春彦と
犯る？

やらないわよ



それじゃあね
康恵

さあ今日も
好タイム出すぞ

まったく



あんたも
イヤなら

早くこの学院
出て行きなさいよ

ごめんなさい





まあいいか…
それじゃあ今日は
絶対にこれ着て
くるのよ

えっ

これって…
うわーピチピチの
ブルマ——

更衣室
レ-203

こんなの勃起して
いなくても股間が
目立っちゃうよー





秋さん
居ますか？

おっ来た来た

わあこの人
ですか秋先輩

なっ!?

本当に男の人には
見えませんね
先輩

いやーこいつ
陸上部の一年で
愛田琴音って
言うんだけど

君とセックス
したいんだってさ

こっこれは一体
どういう事
ですか秋さん

あはっ

秋先輩に最近の
好タイムのワケは
伊東先輩とのセックス
だって聞いて

私も一つ
あやかろう
かなーって

ひどいです秋さん
人に言うなんて
イヤです僕は

あっ

あんた何か
勘違いしてない

あんたは
私のおもちや
肉奴隷なのよ

言う事聞かないと
もっと人にバラすわよ
いいの!!

すみません
ゆるして下さい



秋先輩
何するんですか
恥ずかしいです〜

春彦のはごっつい
からねーよく
はぐさないかね

うはつまだ
カチカチの
大陰唇なこと

ああっそんな所
舐められるの
初めて…
あひゃ

ほらほらお口を
サボってると
大きくならないわよ

あふっあ
あくっ



あはは二人同時に
勃起してるの

クリちゃん
剥いちやえ

やあ

やっ先輩
手を離して

ほーらよく見て
すごいでしょー

ウソさっきの3倍は
大きくなってる〜

あんただって
クリトリスを
大きく勃起させて

オマンコから精液みたいな
白濁した濃い愛液を
分泌しているくせに

ああウソ

ひやあ

ガタ

ガタ

いいのよ
こう言うのは
一気に挿入
した方が

クネ

後々楽に
なるのよ

さあ春彦
一気にズボッと
やっちゃってよ

…はい

あっ
やつやさしくして

でも

グッ

あつやあつ

ひっ

フム

うめ

フム

グッ

グッ



痛い

先輩もう
止めて…

あっ

あう

ひく

きんぐ
きんぐ…

あう

あう

何だ？ せまくて
こんなに僕のを
締め付けるのに

気持ち
良くない…

もっと奥まで
入れないと…

ひゃあああ

もっ

もっいいです

止めて…

とめてー

ひっ

ハッ

あう

ハッ

ハッ

もう少し
もう少し
だから…
琴音ちゃん

あっ

ああん



おかしいよ
いつもならとくに
射精しているのに

もっともっと
擦り付けなきゃ

掻き回さ
れてる

いっついや—
お腹の中を

燃えるわ—

何で何で
イケない!?

あは♡まるで
野獣のセックスね
見てるだけで

クチュ

ワググ

あっ

あっ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ひい

はあ

はっはっやっ

射精るっ

熱っ

キャウッ

ぐん



あつあれ？
どうしたの
琴音ちゃん

琴音ちゃん

ありやく
琴音の方が
先にへばったか

初めてでは
激しすぎたかな

そんな

僕…まだ…

おさまらないよ〜

秋…さん

ふふっいいわよ

私もあんたの
激しい腰使いを
見ていたら
スイッチ入っちゃった

来て



あん

くっはっやっぱり
今日はいつもより
激しいわっ

んっ

はっあっ
でっでも…

私からセックスの
リードを取ろう
なんて事は

まだまだ
早いのよ!!

ひい



ああっこれっ
これです—
この感じ
です—

ほら
ほら

言ったでしょ
私のは名器だって

ヒッ

琴音の貧弱な
マンコとは違うのよ

あひつ秋さんのオマンコでは
僕は一分もたたずに…

うわ♡
大量

射精ちやいます

ふはっ

一回出しているのに
まるで何日もオナニー
していないみたいに
凄い量の精液

ぬるーっ

あらまだ
全然おさまら
ないわね

もう一回する

はい

じゃあ今度は
ちゃんと愛撫
しなさい

はっ

はっ

はい

はい

フツッもう
私の体から
離れられないんじや
ないの春彦

ボク…コノサキ、ドウナツチャウン ダロウ……





言わないと
射精させ
ないわよ

ビィッ
ビィッ

いいます

いいます

いいますから――

しゃせい
射精させてー

うああ……..
ださせて下さい

うあっそんなに
腰を激しく
振らないでー

ああ

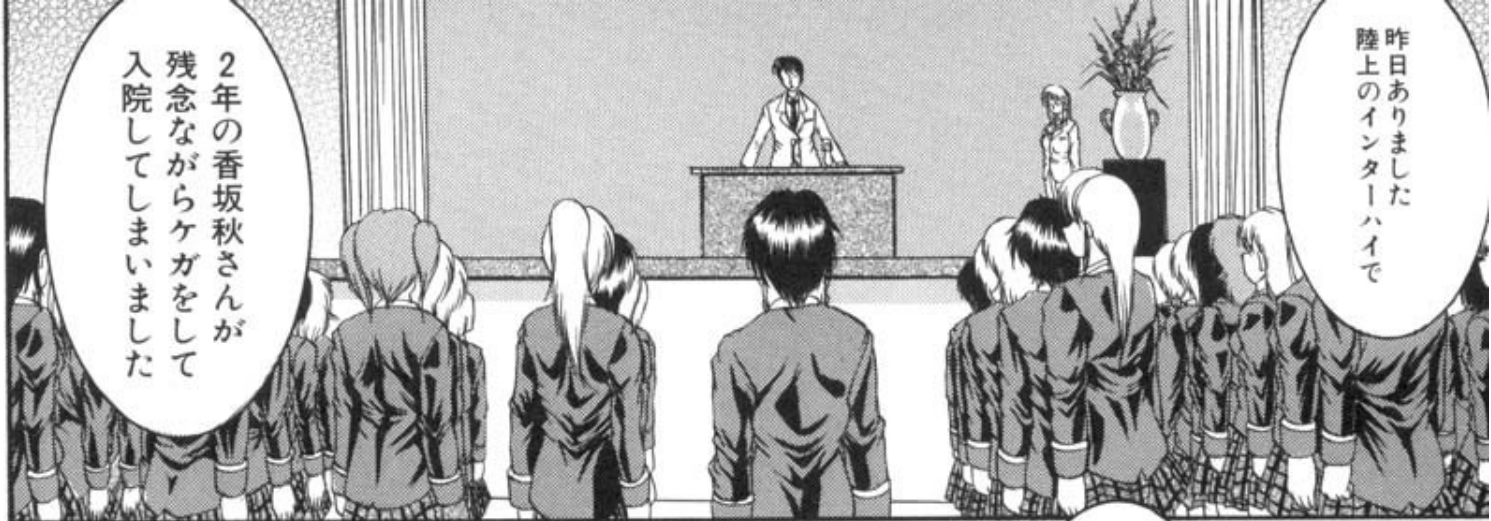


かげ

女学院生

ACT.3





昨日ありました
陸上のインターハイで

2年の香坂秋さんが
残念ながらケガをして
入院してしまいました



えっ

時間のある方は
お見舞に
行つて下さい…

あちやく

秋には悪いけど

あんたはしばらく
イジメられなくて
良かったんじゃない



秋さん…

ふう明日は
試合があるから

今日はこれぐらいに
しといてあげるわ

ハア

ハア

バッチリ優勝して
帰って来たら今度は
パイズリしてあげる
からね

パイズリ

?

このビッグな胸に
あんたのペニスを
はさんで

モミモミシコシコ
気持ちいいぞ〜

秋さん

!?

そこ！何を
さわいているの

やば

すっ
すみません

バカあんな何
股間ふくらませて
いるのよ!!







えっウソ
近藤さん何を

ジツとして
いなさいよ

こうすると
気持ち良いんでしょ

まだ大きく
なるこれ

ペニスつて外は
柔らかいけど中に
固い芯みたいのが
あるんだ

もう

手だけじゃ
ダメなのかしら

まだ
イケないの







あぁあっ

んっ

んっ

きつい

ハア

ハア

ハア

近藤さん初めて
なんじゃないんですか

いっ痛くは
ないんですか

いたい…
痛いけど…

もう私
体が止まら
ないのよ…

ワッ

ワッ

ズッ

このままじゃ私
おかしくなっちゃう

私は家に帰ってから
興奮さめやらずに
毎日オナニーの
くりかえし

いつもあなた達の
セックスを見せられて

だからねえ
もう話してよ...

あなたの秘密を
話して心と体を
スッキリさせてよー

近藤さん
.....

くっ

うっ

あんっそんなに擦り
つけちゃあ…んあっ
力が抜けちゃう

うっっ精液が根元
まで出てきてるのに
射精したい…
射精したいです—

あっダメよ
話してくれないと
射精させないから

うあああ
もう

ひゃん

ダメー
激しすぎる—



あっ

うあん

もう
ダメー

あっ

んっ

あああ…
やっと手が…

ああっ

ぐんぐん
でますー





この学院の
理事長の孫なんです

聖女学院

あん

私の中の精液を
吸い出してよ…

あっ

よいか春彦
お前はいずれ私の
後継者としてこの
学院の経営に
たずさわるように
なるだろう…

キレイに
なりました

お母

もう私の
精液まみれのマンコ
舐めてまたここを
大きくしてる

あっ!?!
すみません

はあ

はあ

しながらで
いいからさ
話を続けてよ

はい

ああんっ

あなたのペニスが
私の子宮口を広げる
広がっちゃう……

はっ

はあ

近藤さんのオマンコ
秋さんと同じくらいに
す凄い!!

はあ

あっ

ザラザラの
肉のカベが
ペニスにからみ
つく

だがお前は男だ
若い女の心が分からぬ

あん

んあっ

あ

あ

それではいづれ問題が起きる……

ひあ

あーこれよ

これっ!!

ああ

私いつもこの姿を
想像してオナニー
していたのよー



すごい

あ

んっ

お前を女として我が校に

編入させる!... いいな

はひっイク…
イッちゃう

初めて男のペニスで
イクー!!

だからすみません
僕はここに居なくては
いけないんです…

うっ…

射精^で
る

うっ

あああっ



もう本当にバカね
また中で射精
して

はあ

はあ

すみません
近藤さんの中とても
気持ちよくて
ガマンできず

でもまあいいか
これでやっと
心も体もスッキリ
したわ



あぁまた出ます
近藤さん……



はあ……
精液も飲みなれると
おいしいかもね

はあ



はあそんな
理由じゃ追い
出せないか……

すみません

まあこれからは
少しは手助け
してあげるかな

あっありがとう
ございます



でもね
そのかわり



これからは
私の性欲処理も
お願いね

……
はい



◆END◆